

令和2年度環境監視結果

目 次

令和 2 年度自然環境保全対策	1
I 令和 2 年度の保全対策	1
II 令和 2 年度の実施状況	1
III その他	3
令和 2 年度生活環境項目調査の計画及び結果	4
I 環境影響評価書の環境保全目標	4
II 令和 2 年度の監視計画の概要	5
III 令和 2 年度の調査結果	6

令和2年度自然環境保全対策

I 令和2年度の保全対策

自然環境の保全対策は、下記の事項を柱にモニタリング調査の結果を踏まえ実施した。

- ① 自然環境の整備
(貴重生物の保全、多様な生息環境の復元地、水辺環境の整備地の維持管理)
- ② 郷土樹種による緑化
(郷土種苗木植栽地、根株移植地、山取苗木移植地の除草等管理)
- ③ 森林環境の改善
(緩衝緑地の森林整備(間伐、除伐、枝打、竹林の整備・除去))
- ④ オオタカの保護対策
(面的な保全対策、継続的な保護対策)

II 令和2年度の実施状況

1 自然環境の整備

地形改変に伴い移植を行った貴重植物等の移植地の除草や、動物や植物が生育するために適した環境の整備等を行った箇所維持管理を実施した。

(1) 既存ビオトープの管理等

赤坂池ビオトープ、千頭ヶ谷ビオトープにおいて、周辺部、池内等の除草を地元NPO(榛原里やまの会)との協働により実施した。



榛原里やまの会

(2) フジタイゲキ移植地管理

貴重植物のうちフジタイゲキ移植地の管理は、現地をこまめに確認し除草等を実施した。



既存のカエル池の除草、藻・土砂除去、日照確保対策等を実施した。



カエル池

※作業前に卵塊が確認された池は容器にて直接卵塊採取後、エアレーションにて酸素供給を実施

2 郷土樹種による緑化

現存植生の復元をするため、郷土種ポット苗木植栽地、郷土種根株・山取苗木の移植地の除草、ツル切り、除伐などの管理を実施した（農地自然林造成地等延べ3.5ha）。



着手前



完成

3 森林環境の改善

緩衝緑地帯の既存の森林について、多様な森林空間を創出するために竹林整備 1.25ha の管理を実施した。



着手前



完成

※写真箇所はスギとコナラ等からなる針広混交林にて侵入した竹の除去を実施

4 オオタカの保護対策

採餌環境の改善対策として、除草 0.8ha の面的な保全対策を実施した。

※令和 2 年度は空港制限区域内の巡視中にオオタカの飛行が複数回確認され、年間を通じて生息していることが確認された。



着手前



完成

III その他

富士山静岡空港では、自然環境保全対策により空港の森（緩衝緑地・造成緑地）を整備し、さらに自然環境の保全が、整備する箇所に応じて確実に地域に根ざし持続的なものとなるよう、活用や管理について地域住民など県民との協働を進めている。

事例紹介

- ・ NPO法人榛原里やまの会（牧之原市）との協働により、周囲部の除草、竹林の整備、伐採竹を利用した正月飾り作り、ホタルの観察会等を実施した。
- ・ NPO法人しろやまゆいの会（島田市）との協働により、周囲部の除草、貴重植物の管理、竹林の整備、地元小学生を対象とした周囲部での森づくり等イベントを実施した。



榛原里やまの会によるホタル観察会準備のためのカワニナ放流、除草（R2.5）



湯日っこの森施肥体験（R3.2）

令和2年度生活環境項目調査の計画及び結果

I 環境影響評価書の環境保全目標

環境要素	環境保全目標等
航空機騒音	L_{den} が57dB以下であること。
道路交通騒音振動	大部分の地域住民が日常生活において支障がない程度。 (道路交通騒音環境基準：昼間70dB以下、夜間65dB以下、道路交通振動要請限度：昼間70dB、夜間65dB)
水質汚濁 (河川水)	<ul style="list-style-type: none"> ・BODを3mg/L以下とする。 ・SSを25mg/L以下とする。 ・T-N・T-Pは、「現状の水質を著しく悪化させないこと」とする。 (坂口谷川、湯日川で評価)
水質汚濁 (浄化槽放流水)	<ul style="list-style-type: none"> ・BODを10mg/L以下とする。 ・SSを20mg/L以下とする。 ・T-Nを20mg/L以下とする。 ・T-Pを2mg/L以下とする。

L_{den} (dB)

航空機騒音測定機器の技術的進歩及び国際的動向に即して、航空機騒音に係る環境基準の評価指標であり、1日ごとの時間帯補正等価騒音レベルを算出する。

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk}+10}{10}} \right) \right\}$$

i 、 j および k は、それぞれ昼間(7:00~19:00)、夕方(19:00~22:00)、夜間(22:00~7:00)の時間帯に発生した単発騒音を表す添え字であり、 $L_{AE,di}$ 、 $L_{AE,ej}$ 及び $L_{AE,nk}$ は、それぞれの時間帯での i 番目、 j 番目および k 番目の単発騒音暴露レベル。また、 T_0 は基準の時間(1s)、 T は観測一日の時間(86400s)。

W値 (WECPNL)

航空機騒音のうるさを評価する指標で、日本語では「加重等価平均感覚騒音レベル」、「うるささ指数」などと呼ばれている。航空機騒音に係る環境基準においては、WECPNLを次式により算定することが定められている。

$$WECPNL = \overline{dB} + 10 \log N - 27$$

\overline{dB} は暗騒音より10dB以上大きい航空機騒音のピークレベル(航空機が通過する際に観測される騒音レベルの最大値)のパワー平均。

N は次式より算定される。

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

N_1 ；午前 0時から午前 7時までの観測機数

N_2 ；午前 7時から午後 7時までの観測機数

N_3 ；午後 7時から午後 10時までの観測機数

N_4 ；午後 10時から午後 12時までの観測機数

$L_{A, Smax}$

周波数特性はA特性、レベル記録の動特性はSLOWとする、暗騒音より10dB以上大きい航空機騒音のピークレベル(航空機が通過する際に観測される騒音レベルの最大値)。

II 令和2年度の監視計画の概要

調査項目	調査箇所	調査頻度	調査内容
航空機騒音	[短期測定] ・住宅地等7地点 ※H27年度から1地点追加(7 向山付近)	年2回 (夏季、冬季)	L _{den} :「航空機騒音に係る環境基準について」(平成19年環境省告示第114号)、「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成27年10月環境省)、「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731)に準拠 W値、L _{A, Smax} :「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第145号)、「航空機騒音監視測定マニュアル」(昭和63年環境庁大気保全局)、「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731)に準拠
	[常時測定] ・滑走路延長上の飛行経路直 下でW値75の予測コンター 先端付近の2地点	常時	
道路交通騒音振動 ・道路交通量	[自動車騒音振動] ・島田市湯日(吹木)、(補足地点) ・島田市湯日(原の平) ・牧之原市坂部 :4地点	年1回(秋季)	道路交通騒音:JIS Z 8731 道路交通振動:JIS Z 8735 道路交通騒音・振動測定時間帯に方向別車 種別(3車種分類:大型車、小型車、二輪車) 交通量を測定
	[道路交通量] ・牧之原市坂部 ・交差点東(牧之原市坂口) :2地点		
水質汚濁 ・水素イオン濃度(pH) ・生物化学的酸素要求 量(BOD) ・浮遊物質量(SS) ・全窒素(T-N) ・全リン(T-P) ・n-ヘキサン抽出物質 ・大腸菌群数(浄化槽 放流水のみ)	[浄化槽放流水] ○浄化槽放流口 :1地点	適宜	水質汚濁の環境基準等に係る測定方法及び 日本工業規格(JIS)に定める方法 pH:JIS K 0102 12.1 BOD:JIS K 0102 21 SS:JIS K 0102 14.1 T-N:JIS K 0102 45.4 T-P:JIS K 0102 46.3 n-ヘキサン抽出物質:JIS K 0102 24.2 大腸菌群数:JIS K 0102 72.3
	[河川水] ○坂口谷川1地点(唐木田橋) ○湯日川1地点(元水橋)		
	[調整池下流河川] 調整池内で浚渫等工事を実施 する調整池下流河川		
電波障害	航空機の運航による電波障害 に係る相談が寄せられた地域 や住居	適宜	個別受信地域:電波測定車の路上調査及び 相談が寄せられた住宅の受信機の調査 共聴施設:共同受信施設の受信機や受信ア ンテナ近傍で測定機器による調査
低周波音(事象調査)	航空機の運航による低周波音 が発生していると考えられる 相談が寄せられた地域や住居	適宜	低周波音の発生、心理的・生理的影響、物的 影響の状況をヒアリングによって把握

Ⅲ 令和2年度の調査結果

1 航空機騒音

(1) 短期測定

すべての調査地点で、「環境監視計画」における環境保全目標 57 dB を超える Lden 値は観測されなかった。また、住宅地近傍で「騒音協定」の住宅防音工事の判断基準 57 dB を超える Lden 値は、観測されなかった。

調査方法	Lden: 「航空機騒音に係る環境基準について」(平成 19 年環境省告示第 114 号) 「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成 27 年 10 月環境省) 「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731) に準拠する。 W 値、 $L_{A, Smax}$: 「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和 48 年環境庁告示 154 号) 「航空機騒音監視測定マニュアル」(昭和 63 年環境庁大気保全局) 「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731) に準拠する。
調査概要	調査箇所における静岡空港の離陸、着陸に係る航空機騒音を測定し、航空機騒音に係る環境基準で評価指標とされている Lden の月別・年平均のパワー平均を求める。 また、W 値 (WECPNL) 及び、 $L_{A, Smax}$ も求める。 ※測定結果は、小数第 1 位までの値で表す。
調査期間	夏季: 令和 2 年 7 月 18 日 (土) ~ 8 月 3 日 (月) 冬季: 令和 2 年 12 月 4 日 (金) ~ 12 月 21 日 (月)
調査箇所	[短期測定] 住宅地等 7 地点 長源寺付近、万代池付近、原の平公民館付近、吹木茶農協緑茶加工場付近、切山新田集会所付近、坂口谷川橋付近、向山付近 (平成 27 年度から追加)

※ 「環境監視計画」における環境保全目標 (航空機騒音) は、Lden が 57dB 以下であること

※ 「環境基準」の基準値: (地域の類型 I) Lden 57dB 以下

(地域の類型 II) Lden 62dB 以下

静岡空港近傍では地域の類型 II があてはめられている。

※ 「騒音協定」の住宅防音工事の判断基準: Lden 57dB 以上が認められる地域。

※ 「騒音協定に定める調査期間」: 1 日の航空機騒音の発生回数が 5 回以上の日数が 3 日未満の時は 3 日以上となるまで測定期間を延長する。(ただし、2 週間を限度とすることを監視計画で規定)

・測定の様子 (坂口谷川橋付近)



(2) 常時測定

調査方法	短期測定 of 調査方法と同様
調査概要	〃
調査日	令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)
調査箇所	①島田市湯日(900m進入灯台付近)＜静岡空港西側＞ ②牧之原市坂部(島田20-2工区ファームポンド敷地内)＜静岡空港東側＞ ※滑走路延長上の飛行経路直下で開港前のW値75の予測コンター先端付近の2地点

表一 航空機騒音常時測定結果 (L_{den}、W値・L_{A, Smax} (平均))

L_{den} (dB)

	L _{den} (dB)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 西側	45.1	39.7	45.0	45.9	45.3	44.3	42.0	47.8	48.9	46.3	44.6	46.2	45.7
② 東側	49.7	44.9	48.7	50.4	51.8	49.7	50.1	51.2	51.0	48.8	47.1	50.9	49.9

L_{den}の測定結果は、地域の類型IIの基準値62dBよりも低い値となった。

また、東側と西側の調査箇所を比較すると、東側で西側より4.2dB高い値となった。

W値 (WECPNL)

	W値 (WECPNL)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 西側	60.7	56.3	60.8	60.5	61.2	60.3	56.8	63.0	63.1	60.2	58.8	61.7	60.7
② 東側	65.8	59.6	64.4	66.6	68.0	65.5	65.8	67.3	67.3	65.3	63.1	66.8	65.9

W値の測定結果は、予測値75WECPNLよりも低い値となった。

また、東側と西側の調査箇所を比較すると、東側で西側より5.2高い値となった。

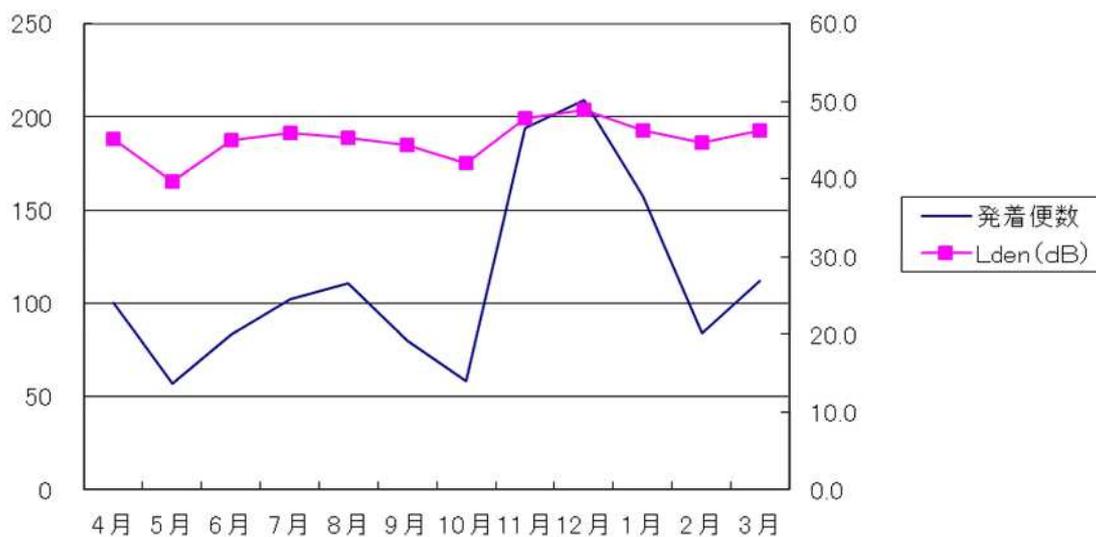
L_{A, Smax} (平均) (dB)

	L _{A, Smax} (平均) (dB)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 西側	82.4	80.2	82.6	82.8	82.3	82.3	79.0	82.0	81.8	79.9	81.1	82.6	81.7
② 東側	81.9	77.8	81.5	82.8	81.7	81.0	81.5	82.3	83.0	82.7	82.5	82.6	81.9

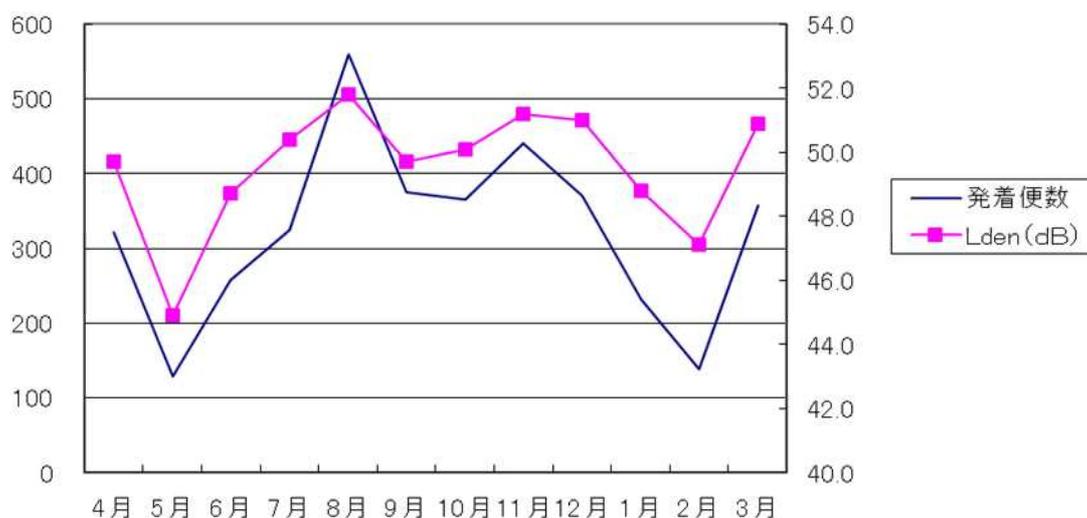
※W値、L_{A, Smax}は、飛行騒音のみを評価

表一 令和2年度発着便数（参考）

	発着便数												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 西側	100	57	83	102	111	80	58	194	209	157	84	112	1,347
② 東側	322	128	257	325	559	376	365	440	371	232	138	358	3,871



図一 令和2年度発着便数とL_{den}の比較 西側（参考）



図二 令和2年度発着便数とL_{den}の比較 東側（参考）

表-3 直近5年間（平成28年度～令和2年度）の発着便数とL_{den}（参考）

	発着便数				
	H28	H29	H30	R1	R2
① 西側	1,524	1,976	1,871	2,224	1,347
② 東側	7,667	7,268	7,810	9,301	3,871

※西側発着便数：西側からの離陸・着陸の合計、東側発着便数：東側からの離陸・着陸の合計

※発着便数は平成30年度までは静岡空港管理事務所、令和元年度以降は富士山静岡空港株式会社調べ

	L _{den} (dB)				
	H28	H29	H30	R1	R2
① 西側	50.3	51.4	51.6	50.8	45.7
② 東側	54.8	54.9	54.9	55.6	49.9

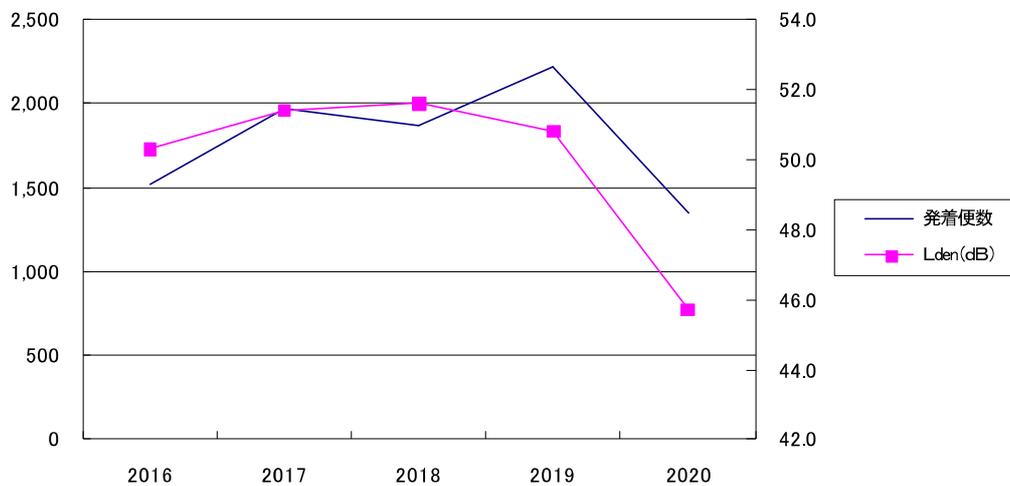


図-3 直近5年間（H28～R2年度）発着便数とL_{den}の比較 西側（参考）

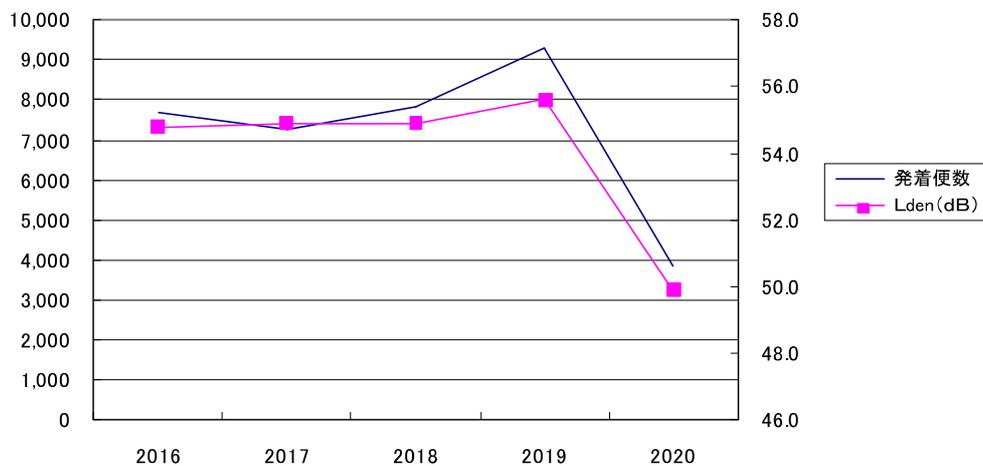


図-4 直近5年間（H28～R2年度）発着便数とL_{den}の比較 東側（参考）

2 道路交通騒音振動

調査日	令和2年11月5日(木) 6:00～6日(金) 6:00【24時間】	
調査方法	騒音	JIS Z 8731に基づく騒音レベル測定方法に準拠。10分単位で騒音レベル(L _{Aeq})を測定し、観測時間帯(正時から1時間)毎に平均値を求める。
	振動	JIS Z 8735に基づく振動レベル測定方法に準拠。10分単位で振動レベルの80%レンジの上端値(L ₁₀)を測定し、観測時間帯(正時から1時間)毎に平均値を求める。
	交通量	道路交通騒音・振動の測定時間帯に、方向別車種別(3車種分類:大型車、小型車、二輪車)の交通量を測定する(毎正時10分及び1時間)。
調査箇所	① 島田市湯日(吹木) ※騒音は従来の補足地点でも調査を実施。 振動は従来の補足地点で実施。 ② 島田市湯日(原の平) ③ 牧之原市坂部 ④ 空港交差点 ※交通量調査のみ	

[道路交通騒音 [L_{Aeq}]]

道路交通騒音の環境保全目標は、大部分の地域住民が日常生活において支障がない程度である。評価基準は、騒音に係る環境基準のうち、「道路に面する地域の基準値(幹線道路を担う道路に近接する空間)」を用い、昼70dB以下、夜65dB以下である。

今回の本調査地点において、環境基準を超える値は観測されなかった。

※島田市湯日(吹木)補足地点において、昼間のみ環境基準を超える72db(要請限度内)を観測した。これは、空港関連車両以外の生活道路として利用する車両の増が主な要因と考えられる。住宅近くの島田市湯日(吹木)では影響を受ける騒音レベルではなく(昼60dB、夜53dB)、その他調査箇所においても環境基準を超える値は観測されなかった。

[道路交通振動 [L₁₀]]

道路交通振動の環境保全目標は、大部分の地域住民が日常生活において支障がない程度である。評価基準は、振動規制法の道路交通振動にかかる要請限度のうち「第2種区域」の基準値を用い、昼70dB、夜65dBである。

今回の調査において、要請限度を超える値は観測されなかった。

表-4 道路交通騒音測定結果 (L_{Aeq})

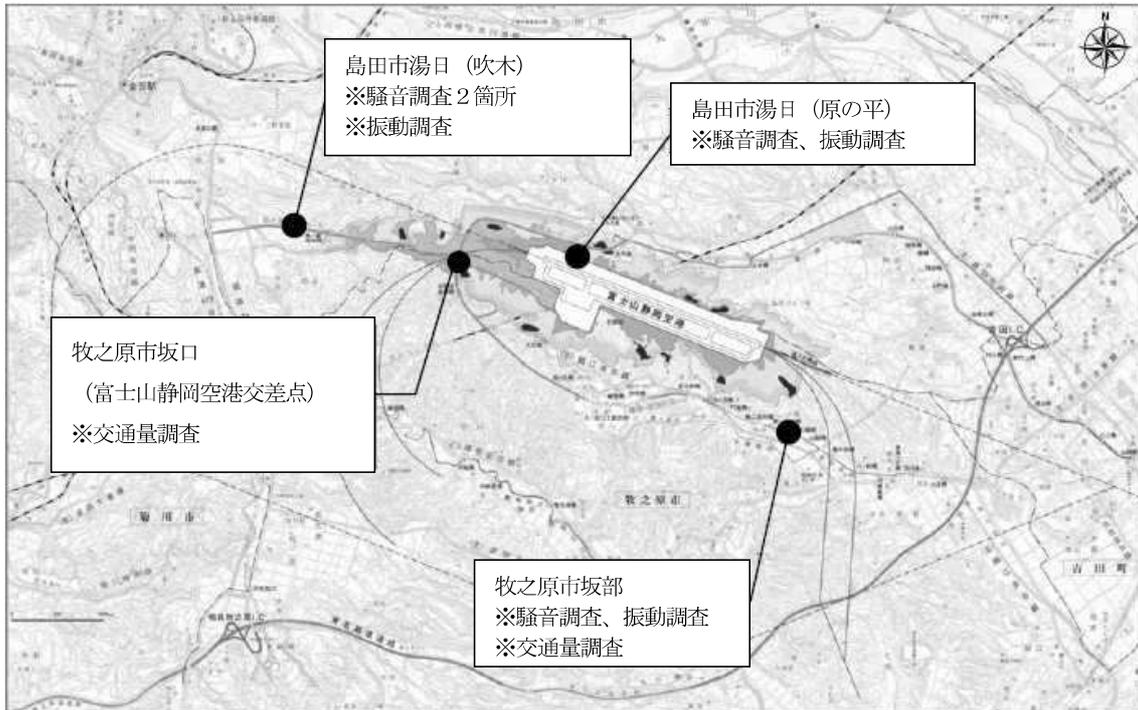
調査日：令和2年11月5日(木)～6日(金)

単位
(dB)

区分	時間	地点名			
		島田市湯日 (吹木)	島田市湯日 (吹木) 補足地点	島田市湯日 (原の平)	牧之原市 坂部
昼間	6:00	61.1	71.8	66.2	68.2
	7:00	62.3	73.5	67.7	70.5
	8:00	61.7	73.1	66.7	69.7
	9:00	60.8	72.5	65.7	68.4
	10:00	59.9	72.5	64.7	68.9
	11:00	59.3	71.8	64.1	68.9
	12:00	58.2	70.7	64.8	67.9
	13:00	59.5	71.7	64.1	68.0
	14:00	60.0	72.1	65.6	68.3
	15:00	60.6	71.9	65.6	68.0
	16:00	60.2	71.4	65.5	68.0
	17:00	60.6	72.1	66.6	68.1
	18:00	60.1	72.0	67.3	67.7
	19:00	59.0	71.1	65.8	66.0
20:00	56.5	68.3	62.2	65.4	
21:00	56.2	67.6	62.8	62.8	
夜間	22:00	54.2	65.4	59.6	62.8
	23:00	51.0	62.2	55.4	62.6
	0:00	49.3	60.5	55.2	59.8
	1:00	51.1	62.0	55.9	58.8
	2:00	51.8	62.7	55.6	59.3
	3:00	52.8	63.6	56.5	59.1
	4:00	52.1	62.6	56.3	60.2
5:00	55.7	66	60.3	64.0	
昼間の平均値		60	72	66	68
夜間の平均値		53	64	57	61
環境基準		昼間 70 / 夜間 65			
要請限度		昼間 75 / 夜間 70			

注) 時間平均値：等価騒音レベル(L_{Aeq})のパワー平均

図一五 道路交通騒音・振動調査、交通量調査実施位置図



表一五 吹木地点の交通量調査

調査実施日	交通量 (台) 10 分間値 (※)				騒音レベル (dB)	
	大型	小型	二輪	合計	昼間	夜間
H21. 11. 27	148	485	8	641	68	-
H22. 11. 2	183	503	7	693	69	-
H23. 11. 4	128	494	13	635	64	-
H25. 11. 12	152	616	7	775	68	-
H27. 11. 24	195	667	14	876	71	64
H28. 11. 7	205	710	8	923	70	64
H29. 11. 10	202	711	8	921	71	65
H30. 11. 8	250	830	7	1087	71	64
R1. 11. 6	202	772	10	984	72	64
R2. 11. 5	290	820	12	1122	60	53

※ 交通量は6時～22時の10分間交通量の合計値である。

表一六 道路交通振動測定結果 (L₁₀)

調査日：令和2年11月5日(木)～6日(金)

単位 (dB)

区分	時間	地点名		
		島田市湯日 (吹木)	島田市湯日 (原の平)	牧之原市 坂部
夜間	6:00	32	<30	39
	7:00	33	<30	42
昼間	8:00	34	<30	44
	9:00	35	<30	44
	10:00	35	<30	46
	11:00	34	<30	44
	12:00	30	<30	41
	13:00	34	<30	44
	14:00	33	<30	44
	15:00	34	<30	42
	16:00	31	<30	41
	17:00	30	<30	38
	18:00	<30	<30	36
	19:00	<30	<30	34
夜間	20:00	<30	<30	32
	21:00	<30	<30	<30
	22:00	<30	<30	<30
	23:00	<30	<30	<30
	0:00	<30	<30	<30
	1:00	<30	<30	<30
	2:00	<30	<30	<30
	3:00	<30	<30	<30
	4:00	<30	<30	<30
5:00	<30	<30	<30	
昼間の平均値		31	31	32
夜間の平均値		<30	<30	<30
要請限度		昼間 70 / 夜間 65		

注) 算術平均値：時間率振動レベル (80%レンジの上端値、L₁₀) の算術平均により算出
吹木については補足地点で調査を実施

道路騒音・振動、交通量調査 (R2.11)



吹木調査地点



坂部調査地点



空港交差点 交通量調査

表1 造成法面植栽地、農地自然林の管理の実績

(令和3年3月末現在)

年度	面積 (ha)	実施箇所
H26	26.54	B1・B2・B3・B4・B5・B6・B7・B8・B9・B10
	4.03	農地自然林造成
H27	26.15	B1・B2・B3・B4・B5・B6・B7・B8・B9・B10
	3.99	農地自然林造成
H28	18.72	B1・B2・B3・B4・B5・B6・B7・B8・B9・B10
	3.68	農地自然林造成
H29	17.42	B1・B2・B3・B4・B5・B6・B7・B8・B9・B10
	3.34	農地自然林造成
H30	15.95	B1・B2・B3・B4・B5・B6・B7・B8・B9・B10
	3.05	農地自然林造成
R1	3.54	農地自然林造成
R2	3.50	農地自然林造成
計	387.93	

※ポット苗植栽・移植木箇所の草刈・つる切り・クズ除去の延べ面積。

※平成30年以降運営権譲渡によりB1～B10盛土等については空樹が管理

表2 森林環境の改善の実績

(令和3年3月末現在)

年度	面積 (ha)	実施箇所	内容		
H26	2.25	島田市湯日 牧之原市坂口	広葉樹林	除伐	
			竹林	除去	
H27	6.23	島田市湯日 牧之原市坂口	広葉樹林	除伐	
			竹林	除去	
H28	4.25	島田市湯日 牧之原市坂口	広葉樹林	除伐	
			竹林	除去	
H29	1.75	島田市湯日 牧之原市坂口	広葉樹林	除伐	
			竹林	間伐	除去
H30	4.92	島田市湯日 牧之原市坂口	広葉樹林	除伐	
			竹林	間伐	除去
R1	1.90	島田市湯日 牧之原市坂口	竹林	間伐	除去
R2	1.25	島田市湯日 牧之原市坂口	竹林	間伐	除去
計	209.21				

表3 オオタカ保護対策工の実績 (令和3年3月末現在)

1. 営巣環境保全エリアの保全 各地域の保護対策の実施概要

地域①

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人工巣台設置(箇所)	-	-	-	-	-	-	-
巣台メンテナンス(箇所)	-	-	-	-	-	-	-

地域②

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
針葉樹間伐(ha)	H25年度末をもって協定解消						
広葉樹除伐(ha)							
竹林整備(ha)							
人工巣台設置(箇所)							
巣台メンテナンス(箇所)							
郷土種植栽(本)							
下刈り(ha)							

地域③

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
針葉樹間伐(ha)	H25年度末をもって協定解消						
広葉樹除伐(ha)							
下刈り(ha)							

地域④

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
針葉樹間伐(ha)	H25年度末をもって協定解消						
人工巣台設置(箇所)							
巣台メンテナンス(箇所)							
郷土種植栽(本)							

2. 営巣可能林の育成

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
針葉樹間伐 (ha)	-	-	-	-	-	-	-
広葉樹除伐 (ha)	-	-	-	-	-	-	-
竹林整備 (ha)	-	-	-	-	-	-	-

3. 採餌環境の改善

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
郷土種等植栽 (本)	-	-	-	-	-	-	-
郷土種移植 (本)	-	-	-	-	-	-	-
下刈り (ha)	1.17	0.70	0.70	0.70	0.70	0.80	0.80
クズ除去 (ha)	0.32	0.29	0.29	0.29	-	-	-
広葉樹除伐 (ha)	-	0.70	-	-	-	-	-

表4 地域住民など県民との協働の取組実績

(9) 平成26年度

内 容	参加者（実施団体名）	場 所	参加者数
林業体験の実施 ※植樹体験、シイタケ駒打ち体験等	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	104人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会 湯日地区町内会	調節池周囲部 県道沿い 他	延べ103人 延べ69人
	NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ55人

(10) 平成27年度

内 容	参加者（実施団体名）	場 所	参加者数
林業体験の実施 ※植樹体験、シイタケ駒打ち体験等	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	142人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会 湯日地区町内会	調節池周囲部 県道沿い 他	延べ114人 延べ55人
	NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ39人

(11) 平成28年度

内 容	参加者（実施団体名）	場 所	参加者数
林業体験・自然観察会の実施 ※植樹体験、ホタル観察会等	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	367人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会 湯日地区町内会	調節池周囲部 県道沿い 他	延べ108人 延べ44人
	NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ43人

(12) 平成29年度

内 容	参加者（実施団体名）	場 所	参加者数
林業体験・自然観察会の実施 ※植樹体験、ホタル観察会等	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	449人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会 湯日地区町内会	調節池周囲部 県道沿い 他	延べ105人 延べ61人
	NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ44人

(13) 平成30年度

内 容	参加者（実施団体名）	場 所	参加者数
林業体験・自然観察会の実施 ※育樹体験、ホタル観察会等	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	428人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会 湯日地区町内会	調節池周囲部 県道沿い 他	延べ120人 延べ67人
	NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ42人

(14) 令和元年度

内 容	参加者（実施団体名）	場 所	参加者数
林業体験・自然観察会の実施 ※育樹体験、ホタル観察会等	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	411人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会 湯日地区町内会	調節池周囲部 県道沿い 他	延べ118人 延べ57人
	NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ45人

(14) 令和2年度

内 容	参加者（実施団体名）	場 所	参加者数
林業体験・自然観察会の実施 ※育樹体験	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	114人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会 湯日地区町内会	調節池周囲部 除草 県道沿い 除草 竹林管理	延べ97人 延べ49人 10人
	NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ72人